

# ～世界基準の安心安全都市を目指して～ みんなでつくるセーフコミュニティがごしま

鹿児島市では、第五次総合計画の都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ” 実感都市・かごしま」の実現に向け、WHO（世界保健機関）が推進するセーフコミュニティに取組み、27年度の認証取得を目指します。

## 「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

先生、ぼくらのまち鹿児島市でセーフコミュニティが始まるけど、「セーフコミュニティ」って何ですか？

先生、事故やけがはどうやって防ぐのですか？

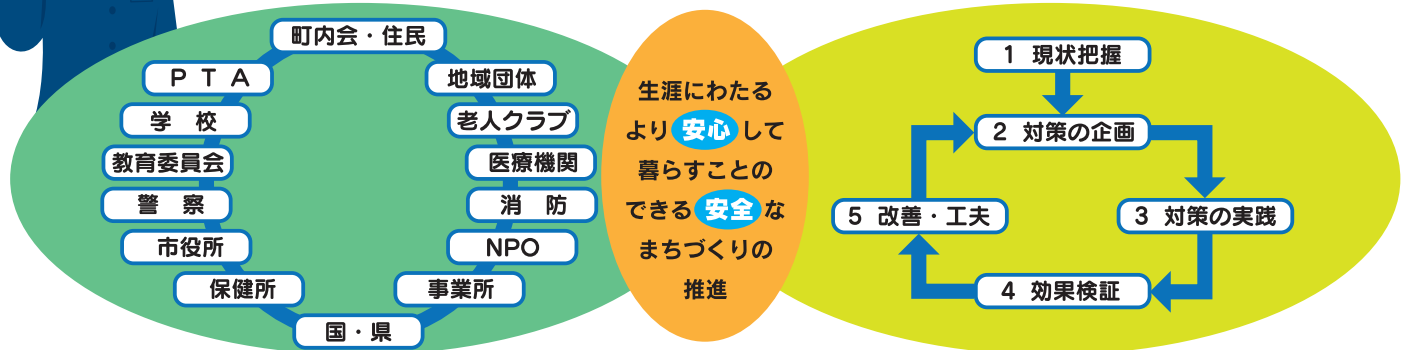
「セーフコミュニティ」は、みんなの身近に起きている事故やけがを予防する取組みのことで、「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」という考えのもと、みんなが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切なんですよ。

みなさんは「頭が痛い」とき、病院で検査をし何が原因かを調べてもらって、治療を受けますよね。これを交通事故で考えてみると、事故が起こった地点を調べ、その原因を分析し、みんなで対策を話し合い、ふたたび事故が起きないように必要な取組を行うことで、事故を防いでいきます。そうすることが、事故を減らすことにつながるんですよ。

セーフコミュニティの取組みは、何か特別な活動を始めのではなく、これまでの地域活動や事業を生かしながら、「予防」に重点を置き、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果をもとに、地域住民、団体、行政が協働し、安心安全なまちづくりに向け、より効果的で継続的な活動を行うことなんですよ。

### 〈横断的な連携〉

### 〈継続的な仕組み〉



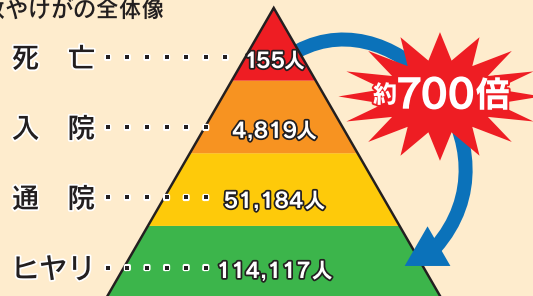
## 重大な事故やけがに繋がるヒヤリハット

右の図を見てください。交通事故などによる死亡の約700倍の「ヒヤリハット※」が存在します。

死亡などにつながる重大な事故やけがを防ぐためには、ヒヤリハットの段階で対処していく必要があると考えられています。

※大きな事故にはならなかったが、ヒヤリとしたり、ハッとした経験

人口動態統計、アンケート調査結果から推計する本市の事故やけがの全体像




死亡（交通事故等）の背後には、多数のヒヤリハットが存在します

へえー  
そうなんだ!!

# セーフコミュニティでは7つの分野に取り組めます。

## 交通安全




### 交通事故による死傷者数[市]

年	死者数	負傷者数	高齢者の死者の割合(%)
H22	14人(8)	5,237	57.1
H23	12人(7)	5,099	58.3
H24	21人(14)	4,635	66.7

※( )は内高齢者


## 学校の安全



### 市立小中学校内の事故やけが[市]

年度	合計	小学校	中学校
H21	3,716	2,080	1,636
H22	3,647	2,029	1,618
H23	3,615	2,083	1,532

## 子どもの安全




### 乳幼児の事故やけが[市]

やけど 11.1 件数:522

事故種別	割合(%)
転倒	35.1
転落	21.5

(H24年度 事故やけがに関するアンケート調査)


## 高齢者の安全



### 平成23年中の救急搬送状況(急病・転院搬送を除く)[市]

対象	件数	交通事故	一般負傷(転倒など)
高齢者	2,243	17.1	79.9
全年齢	5,841	38.3	49.3

## DV防止




### 配偶者からのDV被害経験(身体的暴力)の有無[市]

性別	件数	まったくない	1・2度あった	何度もあった	無回答
女性	659	68.1	22.3	8.0	1.5
男性	414	80.0	14.7	3.4	1.9

(H22年度 鹿児島市男女共同参画に関する市民意識調査)


## 自殺予防



### 自殺による死亡者数[市]

年	合計	男性	女性
H21	108	83	25
H22	92	65	27
H23	111	79	32

## 防災 災害対策



### 始良カルデラ周辺の地盤の上下運動

地下にマグマが蓄積すると地盤が上昇すると言われています。大正噴火の際、大量の火山灰や溶岩が排出され、地下のマグマが減少し、地盤は沈降しました。現在まで昭和の大噴火や南岳山頂火口の活動の激化により蓄積されたマグマの減少がありました。その後、徐々に蓄積され、始良カルデラの下には、大正噴火の発生直前の約9割までマグマが蓄積していると言われています。

年	地盤変動(cm)
M23	0
M43	0
S05	-50
S25	-20
S45	0
H02	10
H22	15

(京都大学防災研究所火山活動研究センター資料)